

平成29年度 弘前市総合計画審議会議事概要（第12回）			
日 時	平成30年3月28日（水） 13時30分～14時15分		
場 所	弘前市役所3階 防災会議室	傍聴者	0人
出 席 者	委 員 （16人）	森会長、村松委員、生島委員、阿部委員、藤田委員、島委員、清野(眞)委員、清野(智)委員、北村委員、鈴木委員、秋元委員、山形委員、石川委員、一戸委員、青山委員、名越委員	
	事務局 （6人）	ひろさき未来戦略研究センター副所長、ひろさき未来戦略研究センター総括主幹、ひろさき未来戦略研究センター総括主査、ひろさき未来戦略研究センター主査、ひろさき未来戦略研究センター主事	
	その他		
会 議 概 要			
1 開会			
2 議事			
(1) パブリックコメントの結果について			
○事務局からの説明に対し、委員からの質問・意見等なし。			
(2) 弘前市経営計画 2018～2021（素案）について			
○主な質疑等の内容は以下のとおり			
・資料編に「個別計画・附属機関」の一覧が追加されたが、一覧だけではそれぞれの個別計画や附属機関を所管している担当課がわからないという印象を受けた。			
→個別計画や附属機関については、複数の担当課が関係しているものもあるため、担当課ごとという視点では整理していないが、経営計画と各個別計画・附属機関が連携してそれぞれの取組を進めていくよう努める。			
・P67・68の政策の方向性「学びと育ちの環境の充実」について、子どもの貧困に関して記載内容等を修正したとのことだが、具体的な取組で変更や追加したものはあるのか。			
→当該施策については、これまでは経済的支援という部分が前面に出ている形であったが、例えば既に行っている「子ども食堂」などの取組もいくつかあることから、それらの取組を集約して掲載したもの。			
・貧困については、数字として表れるもの以外にも、数字には表れない、目に見えない部分での貧困も存在しており、そのような部分でのニーズや声をしっかりと拾			

っていかないといけないと感じたので、その点について考慮して欲しい。

- ・市の財政状況を懸念する新聞報道等もあるが、中長期的な財政状況等を示す資料や記載はあるのか。

→P24 に市の中期財政計画として今後 5 年間の財政推計を示している。農業所得の向上に伴う市民所得の上昇など、これまでの取組により好循環も生まれてきているので、楽観視できる財政状況ではないが、地域の稼ぐ力を向上させつつ、効率的に取組を進めていきたいと考えている。

- ・今回の総合計画ではロジックモデルの考え方を導入し、インプット～アウトプット～アウトカムと流れが整理され非常にわかりやすいと思うが、弘前市の現状分析からインプットまでに至るまでのロジック（何故このような政策を行うかという要因等の分析）もわかりやすく示して欲しい。ひろさき未来戦略研究センターは自治体シンクタンクとして設立されているので、分析や研究活動を担う役割・機能を強化・充実させていって欲しい。

→今回の次期計画策定にあたりデータ分析については、特に力を入れて取り組んできたが、今後もさらに分析に力を入れて、新たな政策につなげて行けるように努力していきたい。

(3) 答申案について

- 事務局からの説明に対し、委員からの質問・意見等なし。

(4) その他（今後のスケジュールについて）

- 事務局からの説明に対し、委員からの質問・意見等なし。

3 閉会